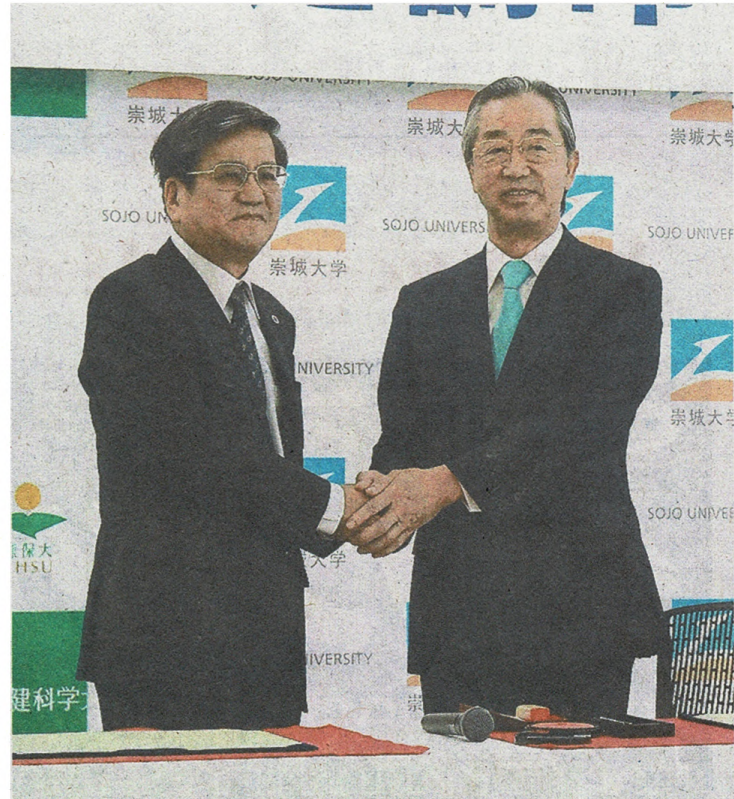


研究と交流で協定

保健科学大と崇城大



協定に調印し、握手を交わす熊本保健科学大の竹屋元裕学長（左）と崇城大の中山峰男学長＝17日、熊本市西区

熊本保健科学大（熊本市北区）と崇城大（熊本市西区）は17日、教育研究や組織運営で協力する包括連携協定を結んだ。共同研究や学生同士の交流など緊密な連携を目指す。

両私立大は生命科学など共通する研究領域で、共同研究や合同シンポジウムの実施、学

部生はじめ大学院生の交流などを進める。キャンパスも近く、体育館や運動場などの施設の相互利用も想定。教職員の研修を目的とした講演会の共同開催も検討する。

この日は崇城大で調印式があり、熊本保健科学大の竹屋元裕学長は「研究室同士や部活

動の交流で互いに向上が期待できる」、崇城大の中山峰男学長は「いろいろな形で地域に貢献できる枠組みができた」と述べた。（臼杵大介）